

コーディネーター：福崎真知子

参加者数：9名（宮城4名・山形3名・福島2名）

テーマ（グループ名）：食など、地域のお宝発見 活性化につなげるには～（②—2）

### ディスカッション内容

①現状と課題：自己紹介、この分科会を何故選んだか及び現在の仕事内容や考えている事などについて

- ・参加者は大学生、高校生、銀行員、食アドバイザー、生命保険会社勤務、会社役員の方々。
- ・私がデザイン会社として取り組んでいる事例として、「食」「地域のお宝」関係の印刷物を配布して事業をご紹介し、皆さんが話しやすいきっかけ作りしスタート。

②現在の取り組み：各自から現在取り組んでいる事などをそれぞれ紹介

- ・海産物製造の方  
日頃よりいろいろな商品開発を試みており、地域の活性化には伊達政宗の商業航路をリサーチ、勉強し、今後も多いにPRしたい。
- ・銀行員の方  
日本酒が好きなので日頃より勉強し、酒めぐりツアーなどを企画したい。
- ・「食」の出口としてアドバイザーをしておりアグリビジネスなど相談を受けている。
- ・保険会社の方  
保険会社ではあるが、企業の新規事業などの相談を受けている。是非、具体的な相談があれば、受け付ける。
- ・福島県の方  
相馬の野馬追を一家あげてやっている。馬は総勢5百余騎にもものぼり東北6大祭りの一つでもあり、是非、活性化のため皆様に来て頂きたい。今後も多いにPRしていく。
- ・大学生の方  
日頃よりゼミにて女性の生き方などを学んでいる。今後も多いに学びたい。
- ・高校生の方  
部活動として地域の活性化のため、地元の食材を用いたお菓子の開発などを積極的に行い、またお祭りやイベント時など開発商品の販売を行いPRに努めている。

③今後の活動へのヒント・提案

- 各自の取り組みや体験を報告し合い、今後の活動への提案をおおぎ、ヒントを得ました。
- ・若者側としては、facebook やブログはやっておらず、twitter やインスタグラムがメインの情報手段であるので、もし若者に情報発信したい場合は、140文字の短文による twitter や写真がメインであるインスタグラムを活用したら良いと思う。
- ・あらためて地元のお宝を探してみようと思う。
- ・保険会社としても地元の活性化のために相談窓口を開けているの活用して欲しい。
- ・今後は地元で若者中心のイベントを企画していきたい。

④コーディネーターとしての感想

各自日頃より、積極的に地域のお宝さがしに励んでいる志の高い方々ばかりであり、また地元愛にあふれる皆様で、このような女性がどんどん増えて、われらが地域自慢コンテストなどやれたら面白いのではと思いました。短い時間ではありますが、有効なひと時であったかと思っています。